

困難を抱える女性に向けた アウトリーチ型相談支援事業【仙台市】

個別事業費	4,787 千円
交付金額	3,590 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、半数以上が非正規雇用であり、2割前後で推移している男性と比べてその割合は高くなっている。出産や子育てによる就業の中断などを背景とした男女間、雇用形態間の賃金格差も大きく、女性は様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・若年期の女性においては、自分が困難を抱えているという自覚がない、信頼できる大人が近くにいないため相談できず生きづらさを抱えてしまうというケースも想定される。
- ・本市では、相談窓口により生活上の困難を抱える方の相談に対応しているが、敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながらない女性も一定数存在すると思われる、そのような実態に合わせた支援事業を実施する必要がある。

事業の特徴

- ・貧困や孤立、性被害などのリスクを抱える若年期を含めた女性を相談・支援につなげるため、アウトリーチ相談・支援について、令和4年度並びに令和7年度にプロポーザル方式により採択されたNPO法人キミトナリへ委託し事業を行っている。
- ・事業の実施にあたっては、各種SNSや、巡回活動でのリーフレット等配布で対象世代へ事業（夜間の居場所開設）の実施周知を行うことで、相談窓口へつながることが難しい女性へ居場所開設について知ってもらえるよう工夫している。

事業の効果

- ・貧困や孤立、性被害などのリスクを抱えるものの、様々な事情で支援機関につながっていない10代から20代の若年期を含めた女性を適切な相談・支援につなげることができた。
- ・困難な状況にあるもののそれを抱え込んでしまう女性が、否定されず受け入れてもらえる場所を求めている様子が伺えた。

目的・目標

アウトリーチによる支援者数を増加させることで、若年期を含めた女性の抱える複雑な状況や困難について支援を進めることを目的とする。

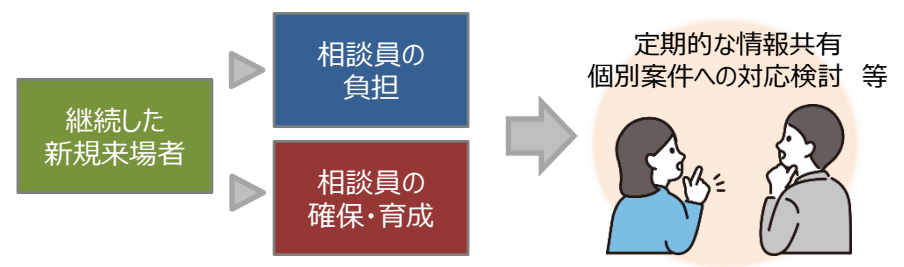
	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	アウトリーチによる支援者数	延べ400人	延べ557人	139%

連携団体

- ・NPO法人キミトナリ
（令和4年度並びに令和7年度にプロポーザル方式により採択）
- ・「若年女性支援情報交換会」※以下構成団体
 - ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
 - ② 仙台市
 - ③ ①の関係団体（民間の各支援団体等）

今後の課題

個別案件への対応増加による相談員の負担が増えていることに加え、来場者数の増加に伴う相談員の確保・育成が必要になっていることから、委託先と情報共有を図りつつ、適切に事業を実施する必要がある。



事業の概要

困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型 相談支援事業（トナカフェせんだい）

貧困や孤立、性被害などのリスクを抱える若年期を含めた女性を
相談・支援につなげるため、アウトリーチ相談・支援について、
令和4年度並びに令和7年度にプロポーザル方式により採択された
NPO法人キミノナリに委託し、事業を行った。

概要

- 内 容：月に3～4回程度、主に金曜日の19:15～22:45に
市中心部において居場所を開設。また、居場所の開
設に併せた時間帯や、居場所開設を実施しない週に
各2時間程度、巡回活動を実施。
- 実施回数：居場所開設37回、巡回活動18回
- 居場所の利用人数：延べ557人
- 巡回活動の声掛け人数：延べ1,336人

実施内容

- 居場所開設
 - ・女性相談員が常駐する居場所を提供する。来所者からは利用料
を徴収せず、飲料や軽食等を提供して、訪れるハードルを下げる。
 - ・来所者から相談があれば、短時間（20分程度）は個別相談に対
応し、これを超える相談の必要がある場合には、適宜同行支援等の
対応を行う。
 - ・相談員には、社会福祉士、助産師、心理士、弁護士等の専門知
識を持った相談員に加え、来場者に近い年齢の相談員を配置して、
話しやすい雰囲気作りを目指す。
- 巡回活動
 - ・相談員が繁華街等を巡回し、若年女性に声をかけて困りごとを聞き
取るなどの巡回活動を実施する。その際、当事業の趣旨を記載した
チラシやノベルティグッズ等を配布し、事業の周知にも努める。

チラシ・写真

会場



チラシ



ノベルティ（ウエットティッシュ）



結果・実績

- ・貧困や孤立、性被害などのリスクを抱えるものの、様々な事情で支援
機関につながっていない10代から20代の若年期を含めた女性を適切な
相談・支援につなげることができた。
- ・困難な状況にあるもののそれを抱え込んでしまう女性が、否定されず受
け入れてもらえる場所を求めている様子が伺えた。
- ・個別案件への対応増加による相談員の負担が増えていることに加え、
来場者数の増加に伴う相談員の確保・育成が必要になっていることから、
委託先と情報共有を図りつつ、適切に事業を実施する必要がある。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業 目標	アウトリーチによる支援 者数	延べ400人	延べ557人	139%